

平成29年度
石狩海浜植物保護センター活動報告

石狩市環境市民部

石狩海浜植物保護センター

目次

事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1. 普及啓発活動	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 調査・研究	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
3. 自然観察園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
4. 環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
5. 来館者数	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
6. 保護・回復対策	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
沿革	・ ・ ・ ・ ・ 1 7

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境を残していくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成25年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、当センターの隣接地 7,000 m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植や、散策路づくりを、「はまなすサポーター（研究機関、企業、市民等）」の方々と協働で取り組みました。

また、市民有志が集まり（はまなすフェスティバル実行委員会）、各種イベント等を開催しました。

■はまなすフェスティバル

内容：石狩浜海浜植物保護センターを会場に、はまなすの「癒し」をテーマに設定して開催しました。新たな試みとして朝摘みの花びらを使って蒸留水を作成する「モーニングツアー」の実施、ハマナスのクリームを使ったハンドマッサージなどハマナスの香りから癒される体験ができる企画にしました。天候には恵まれませんでした。過去最多数の来館者数になりました。ハマナスをきっかけに、石狩浜のすぐれた自然の魅力・大切さを多くの人に伝えることができました。また、ハマナスを活かした市民活動の活性化につなげました。

開催日：平成29年6月25日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：670人



■はまなす広場

内容：「石狩さけまつり」と同日開催し、ハマナスの活用（香り体験、ローズヒップで飾るリース作り）やハマナスゼリーの試食、ハマナスティーの試飲、はまなすの実を摘んでジャムを作る「魅惑のローズヒップツアー」を企画しました。はまなすフェスティバルのミニ版として開催し、とことん秋のハマナスを楽しみました。

開催日：平成29年9月23日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：700人



■はまなすセミナー

内容：はまなすフェスティバルが5年目を向かえ、石狩市民だけではなく新たにアロマや自然に興味のある人に対象を絞り企画しました。アロマ講座で人気の高い植物療法家・株式会社 TOTOLAB 村上志緒氏をお招きし、ハマナスの新たな利用方法について学ぶ内容となりました。



開催日：平成 29年6月11日（日）

場 所：はまなすの丘公園・弁天会館

講 師：株式会社 TOTOLAB 村上志緒氏

参加者数：33名

■再生園の様子

石狩浜海浜植物保護センター隣接地、約7,000㎡をハマナス再生園として再生、活用するために、はまなすサポーターや市民による再生園整備作業を行いました。また、活動日を「ハマナスヘルシータイム」と改め、作業後はお茶会を設け、サポーター同士の交流を図りました。作業日は6/9、7/14、9/8、10/13の全4回。

●ハマナス再生園 H29. 6月撮影



●ハマナスサポーター登録数（4/1～11/3） 66人

●ハマナスの苗の配布数（4/1～11/3） 苗173本

●ハマナスの苗づくり・移植数（4/1～11/3）

苗づくり 100ポット、 移植数 100ポット

●ハマナスヘルシータイム

①第1回（6/8）再生園作業（除草）

お茶会

（セントモニカによるハマナスハーブティー提供）



参加人数 11名

②第2回（7/13）再生園作業（除草）

お茶会

（土倉によるハマナス緑茶の提供）



参加人数 15名

③第3回（9/14）再生園作業（除草）

お茶会

（ウ・ターブルベールによるハマナスハニー提供）



参加人数 12名

④第4回（10/21）再生園作業（移植）

お茶会

（後藤商店によるホコノノ、NANAYAによるお菓子の提供）



参加人数 11名

■第5回 石狩海辺の風景写真コンテスト

募集期間：7月1日～8月31日、 応募数：29点

全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「石狩海辺の風景写真コンテスト」を開催しました。

応募作品すべて、市内外の各所で展示会を行いました。

平成29年 9月27日～11月 3日：石狩浜海浜植物保護センター

11月 8日～11月12日：石狩市民図書館

11月27日～12月 5日：石狩南コミュニティセンター

12月11日～12月19日：石狩市役所1階ロビー

12月20日～12月27日：石狩北コミュニティセンター

平成30年 1月25日～ 2月 5日：札幌エルプラザ1階情報センター

【受賞作品】



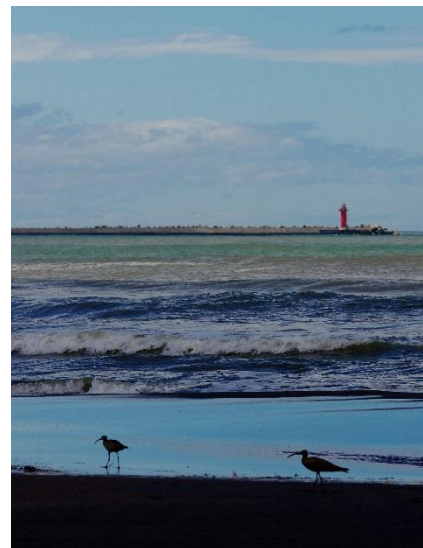
グランプリ 白畠 徹さん
「つぼみ」



準グランプリ 本多 純さん
「ノビタキの給餌」



準グランプリ 黒木 一浩さん
「秋空に舞う」



石狩市長特別賞 渡部 昌樹さん
「パレット」

2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

石狩市協働事業提案制度に基づき平成 23 年度に採択された、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」（提案制度は平成 23～26 年度）について、引き続き、表 1-1 のとおり取り組みました。

表 1-1 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレットを、7月22日（土）、7月30日（日）の2日間、レジャー利用者等に配布しました。

■海辺パトロールウォーク

海浜植物保護地区外の海浜植生域のバギー車等の乗り入れ状況を調査するために、5月12日（金）、6月2日（金）、7月7日（金）、8月4日（金）、9月1日（金）、10月6日（金）、11月10日（金）の計7回、パトロールを実施しました。



パンフレット



7/22パンフレット配布



7/7 パトロール活動

3. 自然教室等

平成29年度は、表1-2のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表1-2 平成29年度自然観察会等の開催状況

■石狩浜海浜植物保護センター 「保護センターふしぎ発見館内ツアー」

5月 6日（土）、6月 3日（土）、7月 1日（土）、8月 5日（土）、9月 2日（土）、10月 7日（土）全6回 のべ16名参加

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員

■石狩浜海浜植物保護センター 「海浜植物ふしぎ発見ミニ講座」

5月13日（土）、6月10日（土）、7月15日（土）、8月12日（土）、9月 9日（土）、10月21日（土）全6回 のべ12名参加

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員

■石狩浜海浜植物保護センター 「自然ふしぎ発見観察園ツアー」

5月20日（土）、6月17日（土）、7月22日（土）、7月29日（土）、8月19日（土）、8月26日（土）、9月16日（土）、10月28日（土） 全8回 のべ19名参加

講師：石狩浜海浜植物保護センター普及員

■春の生き物さがし

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

5月13日（土） 参加者31名

石狩に生息するエゾサンショウウオとエゾアカガエルの卵を探しました。

会場：石狩浜海浜植物保護センター ほか

講師：斎藤 和範氏（北海道旭川教育大学非常勤講師）

■自分で作ったたこをあげよう

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

5月20日（土） 参加者17名

会場：石狩浜海浜植物保護センターほか

参加者が作成したたこを砂丘と海辺であげて、風の強さや向きを体感しました。

講師：自然案内人 白畠 徹氏

■ふるさと海辺フォーラム2017 in 石狩（第5回石狩海岸フォーラム）

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

7月8日（土）・9日（日） 参加者30名

会場：弁天会館 ほか

参加団体：名取ハマボウフウの会（宮城県）・セヶ浜ハマボウフウの会（宮城県）・特定非営利活動法人ゆい（神奈川県）・NPO 法サンクチュアリーエヌピーオー（静岡県）・伊予高等学校（愛媛県）・中標津エコランド山菜工房（北海道）・北の里浜花のかけはしネットワーク（北海道）

コーディネーター：溝渕 清彦氏（環境省北海道環境パートナーシップオフィス）

■セイヨウオオマルハナバチ駆除体験会 in 石狩

（環境保全課主催）

7月15日（土） 参加者14名

会場：石狩浜海浜植物保護センター ほか

指導：西川 洋子氏（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）

保護センター内でマルハナバチについて説明した後、無事の民で駆除を実施しました。

■夏休みこども自然教室

7月22日（土）・23日（日） 「流木アート」 参加者16名

石狩浜に落ちている流木や貝がらを使って置き物を作成しました。

7月29日（土）・30日（日） 「海辺の昆虫さがし&標本作り」 参加者10名

観察園で昆虫を探して、バッタや蝶の標本を作成しました。

8月 5日（土）・ 6日（日） 「植物ミニ標本作り」 参加者10名

海浜植物の押し花標本を作成しました。

8月11日（祝金）・13日（日） 「砂の中のお宝探し」 参加者13名

砂の粒を顕微鏡で観察し、オリジナルのプレパラートを作成し持ち帰りました。

8月12日（土）「草木染め」 参加者3名

ハマナスの根や葉から作った染料でハンカチを染めました。

会場：石狩浜海浜植物保護センター

講師：石狩浜自然案内人

■海辺のクラフト教室&観察園クイズラリー

7月26日（水）～8月20日（日） のべ266名参加

会場：石狩浜海浜植物保護センター

指導：石狩浜海浜植物保護センター普及員

クラフト遊び、自然観察園でのクイズラリーを行いました。

■いしかり海辺ナイトウォーク

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

8月5日（土） 参加者18名

夜の石狩浜を河口まで歩き、ビーチコーミング・星空観察・生き物探しをしました。

講師：志賀 健司氏（いしかり砂丘の風資料館）

■フットパスツアー「望来海岸ふしぎ発見ツアー」

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

9月3日（日） 参加者15名

望来海岸を歩き、赤いハマナスの実やウンランなどの植物、石油湧出地などを観察しました。



5/28 石狩浜自然案内人養成講座



7/8 ふるさと海辺フォーラム

4. 教育機関等への学習指導

センターでは、小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムを提供しています。平成29年度にセンターを利用した学校等は表1-3のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜学習プログラム集」をHP上で配信しています。

表1-3 平成29年度学校等利用状況

利用日	学校等名称（学年）	人数（人）
5月9日（火）	石狩小学校（5年）	12
6月26日（月）	花川南小学校（4年）	51
7月14日（金）	石狩小学校（1年）	20
7月27日（木）	石狩教育研究会実技研修会	40
8月17日（月）	屯田北中学校科学部	15
9月1日（金）	花川南小学校	98
9月8日（金）	石狩中学校	34
9月28日（木）	石狩小学校	12
10月2日（月）	石狩小学校	12
	団体数	9
	人数合計	294

5. 出張講座・講師派遣事業

出張・出前講座及び講師派遣事業は表 1-4 のとおりです。

表 1-4 平成 29 年度出張講座・講師派遣事業実施状況

■事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校 2 年生）
種まき作業：5 月 23 日（火）、移植作業：7 月 21 日（金）、苗の観察：10 月 4 日（水）
会場：石狩中学校
内容：仙台北海岸の海浜植物の種まき、育苗、移植など。被災海岸の現状等を学ぶ。
人数：24 名
■出前講座（石狩小学校 5 年生）
5 月 9 日（火）、9 月 28 日（木）、10 月 2 日（月）
会場：はまなすの丘公園、石狩浜海浜植物保護センター、三線浜ほか
内容：はまなすの丘公園の海浜植物、ハマナスのジャム作り、バギー車跡の見学など
人数：12 名
協力：いしかり海辺ファンクラブ
■出前講座（南線小学校 3 年生）
7 月 6 日（木）、12 日（水）
会場：はまなすの丘公園、石狩浜ほか
内容：はまなすの丘公園の海浜植物、海浜植物の地下茎について
人数：177 名
協力：いしかり海辺ファンクラブ
■出前講座（花川南小学校 4 年生）
6 月 26 日（月）
会場：はまなすの丘公園ほか
内容：はまなすの丘公園の海浜植物、フィールドビンゴなど
人数：103 名（自然班 50 名、歴史班 53 名、引率教員 5 名）
協力：いしかり海辺ファンクラブ、いしかりガイドボランティア
■事業協力：北の里浜 花のかけはしプロジェクト（石狩中学校 3 年生）
8 月 25 日（土）・26 日（日）
会場：宮城県名取市（名取市関上浜ほか）
内容：海浜植物の植栽、被災地での交流など
人数：5 名（引率教員 1 名含む）
■出前講座：石狩浜学習（石狩中学校 1 年生）
9 月 8 日（金）
会場：石狩浜海浜植物保護センター、三線浜、はまなすの丘公園、石狩中学校
内容：テーマ1 はまなすの丘公園を石狩川河口先端まで歩こう。

テーマ2 海浜植物と砂丘の役割や植生の変化について知ろう。

テーマ3 石狩浜のゴミについて実態を調査してみよう。

人数：31 名

協力：いしかり海辺ファンクラブ

■ブース出展：科学の祭典 in 石狩 2017

(主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会)

9月10日(日)

会場：石狩市こども未来館

内容：「石狩浜の砂の中から見つかる生き物のしるし」

人数：120名 (イベント全体参加人数：1,000人)

協力：石狩浜自然案内人

■ブース出展：サイエンスラボ in ハッピーママフェスタ札幌 (主催：CISE ネットワーク)

11月24日(金)

会場：札幌ドーム

協力：石狩浜自然案内人

■ブース出展：科学の祭典 in 北海道

(主催：CISE ネットワーク)

2月17日(土)

会場：札幌ドーム

内容：海浜植物の種で作るマグネット、テンキで作るコースター

協力：石狩浜自然案内人

■ブース出展：科学の祭典 in 札幌冬の大会

(主催：CISE ネットワーク)

2月18日(日)

会場：札幌ドーム

内容：海浜植物の種で作るマグネット、テンキで作るコースター

協力：石狩浜自然案内人

6. 施設利用

各種団体の利用状況は表 1-5 のとおりです。

表 1-5 平成 29 年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	団体名	人数(人)
4月24日(日)	北海道大学環境科学院	12
5月17日(水)	東海大学関係者	3
5月21日(日)	自然と遊ぼう子組	8
5月29日(月)	北海道大学環境科学院	7
6月4日(日)	ユリ協会	17

6月8日(木)	タクシー協会(商工労働観光課主催)	20
6月11日(日)	木村さん山仲間	10
6月13日(火)	発寒にこりんこども園	81
6月18日(日)	ハマナス会	12
7月9日(日)	森の倶楽部(北広島)	20
7月10日(月)	花川北陽認定こども園	42
7月24日(月)	花川南すみれ会(歩く会)	13
8月8日(月)	石狩管内中学校科学部	70
8月9日(水)	北の里浜 花のかけはしネットワーク	5
9月2日(土)	るもい青少年会議所シニアクラブ 有志会	5
9月14日(木)	花川北陽認定こども園	42
9月22日(金)	北の里浜 花のかけはしネットワーク	5
10月7日(土)	環境プラザ エコクラブ交流会	40
10月15日(日)	札幌児童会館	16
10月21日(土)	イオンチアーズクラブ	12
10月27日(金)	札幌教育大学地学研究室	45
	団体数	21
	人数合計	485

7. 執筆・寄稿

出版物への投稿は表 1-6 のとおりです。

表 1-6 平成 29 年度出版物への寄稿・執筆状況

■雑誌「モーリー第47」誌面『ネイチャーセンター日記』

発行：財団法人北海道新聞野生生物基金

テーマ：おいでよ！海辺のクラフト教室

8. 刊行物・ホームページ

平成 29 年度に配布した刊行物等の発行状況は表 1-7 のとおりです。

センターのホームページで配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。

なお、ホームページアクセス数は表 1-8 のとおりです。

また、ブログ「石狩浜観察日記」で石狩浜の自然豊かな様子を、写真中心にお届けしています。

表 1-7 平成 29 年度刊行物発行状況

刊 行 物 名	内 容
通信誌「はまぼうふう」 vol.56～61	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載
観察園便り 2017 vol.1～7	センター観察園の植物の様子とはまなすの丘公園の観察記録を写真を中心に掲載

表 1-8 平成 29 年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	1,918	3,119	4,727	2,630	2,662	2,078
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	1,568	1,253	1,022	989	1,108	1,083
年間計	24,157		月平均		2,013	

9. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子の種類と数は表 1-9 のとおりでした。

表 1-9 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数	種 類	配布袋数
ハマボウフウ	291	ハマヒルガオ	228
ハマエンドウ	225	エゾカワラナデシコ	306
ハマハタザオ	150		
		配布合計	1,200

2. 調査・研究

これまでに発行した調査研究報告は表 2-1 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

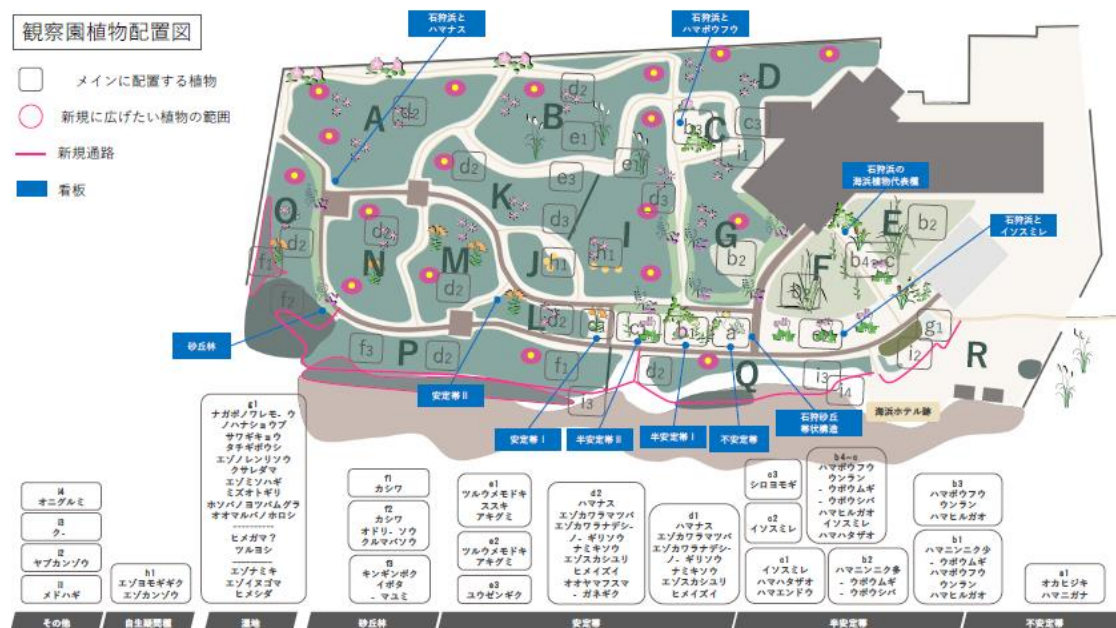
報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況 (2003 年度調査)	2 号
石狩海岸林の植生概要 (2004 年度調査)	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録 (2004/2005)	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録 (2006)	5 号
聚富海岸の植生概況 (2007 年度調査)	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録 (2007)	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

3. 自然観察園の整備

1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約 2,100m²の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩海岸の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図っています。



2. 市内公園等での海浜植物栽培

センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表 3-1 のとおり、市内の公園で栽培しています。

表 3-1 平成 29 年度市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況

公園名	海浜植物の種類
図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、ハマボウフウ、ナミキソウ、エソスカシユリ、シロヨモギ



図書館横花壇

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

1. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています。

ハマナス再生園の園路と有機的につなげ、本町地区を訪れる利用者の利便性を図りました。



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

2. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキ、アキグミが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 29 年度も以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの方の参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表 4-1 平成 29 年度外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
10月14日（土）	約80名	石狩市緑化推進協議会、いしかり海辺ファンクラブ、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、NTT 東日本 CSR 推進室 ほか

5. 来館者数

平成 29 年度の開館期間中（4 月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は、10,021 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

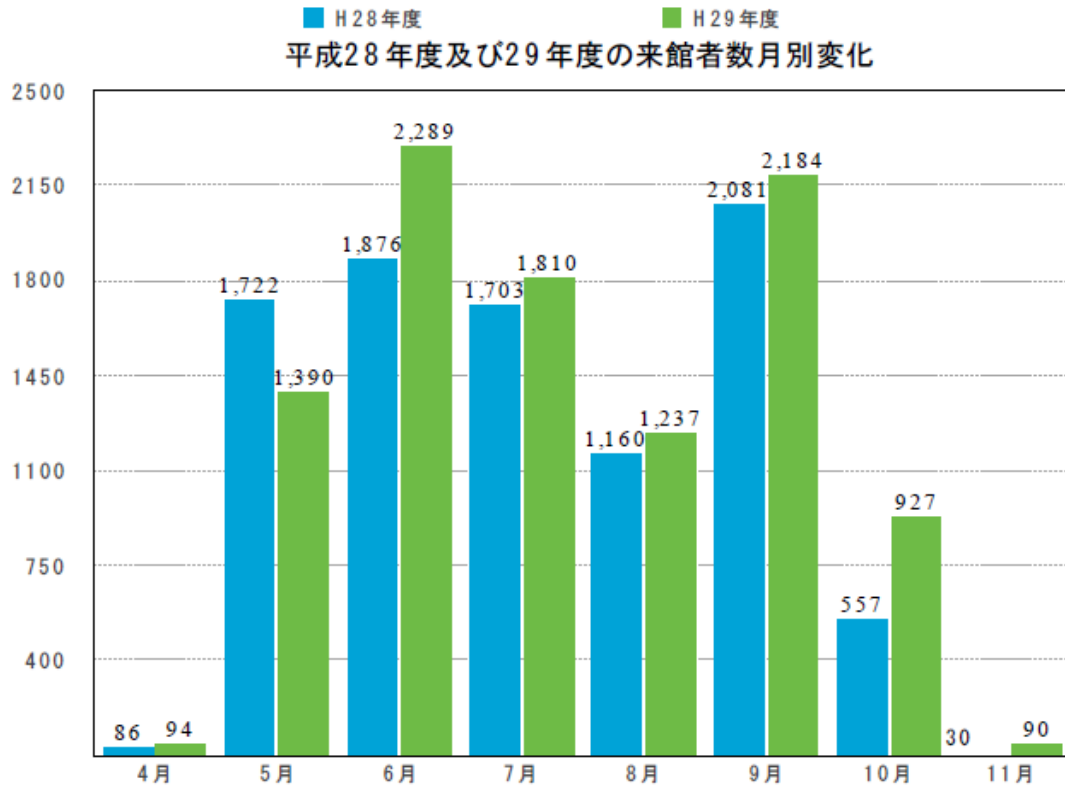


図 5-1 平成 29 年度の来館者数の月変化と前年度との比較

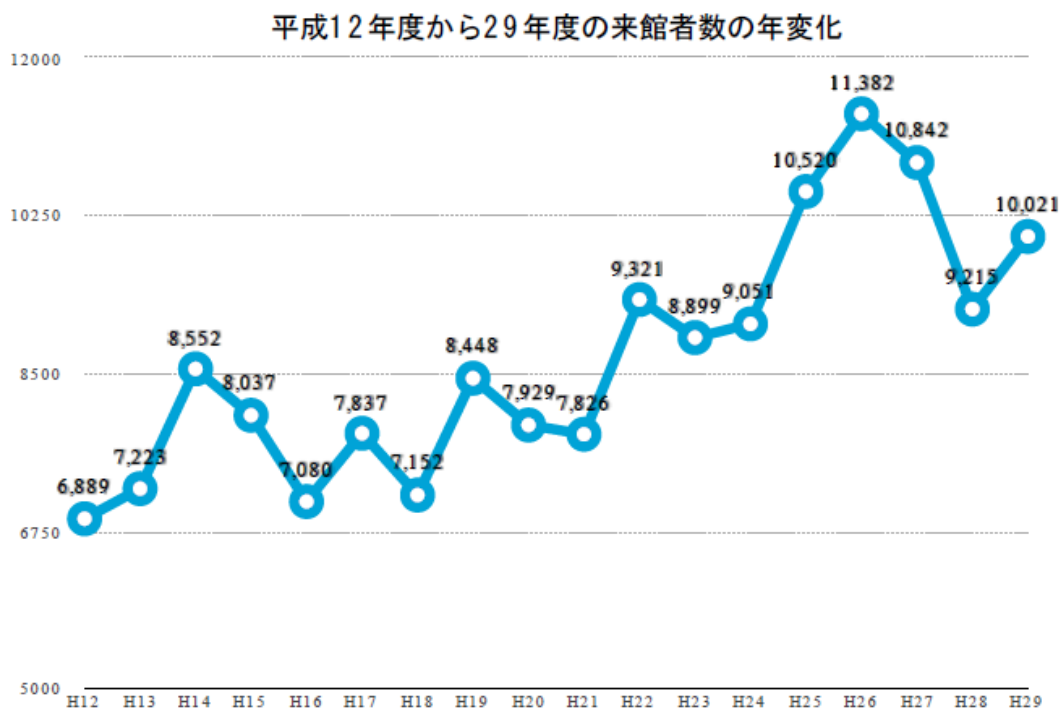


図 5-2 平成 12～29 年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）監視員2名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先の4～5月はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

2. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、平成25年に指定した「弁天地区」・「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

平成30年には、親船地区が東埠頭側に、約1.2km、約15ha拡大されることとなりました。

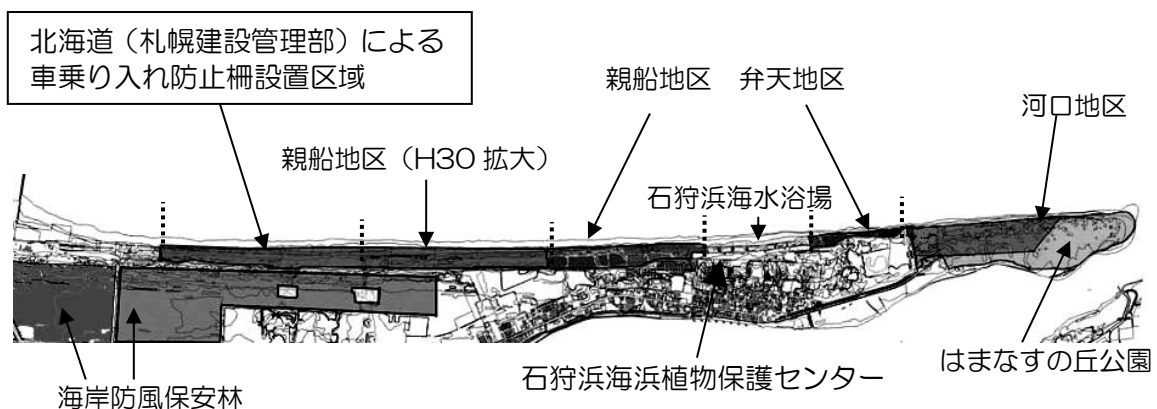


図 6-1 車乗り入れ防止柵設置区域

沿 革

石狩海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称	石狩海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町4番地1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1 m ² センター／木造2階建、延床面積：259.5 m ² 、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m ²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩海浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

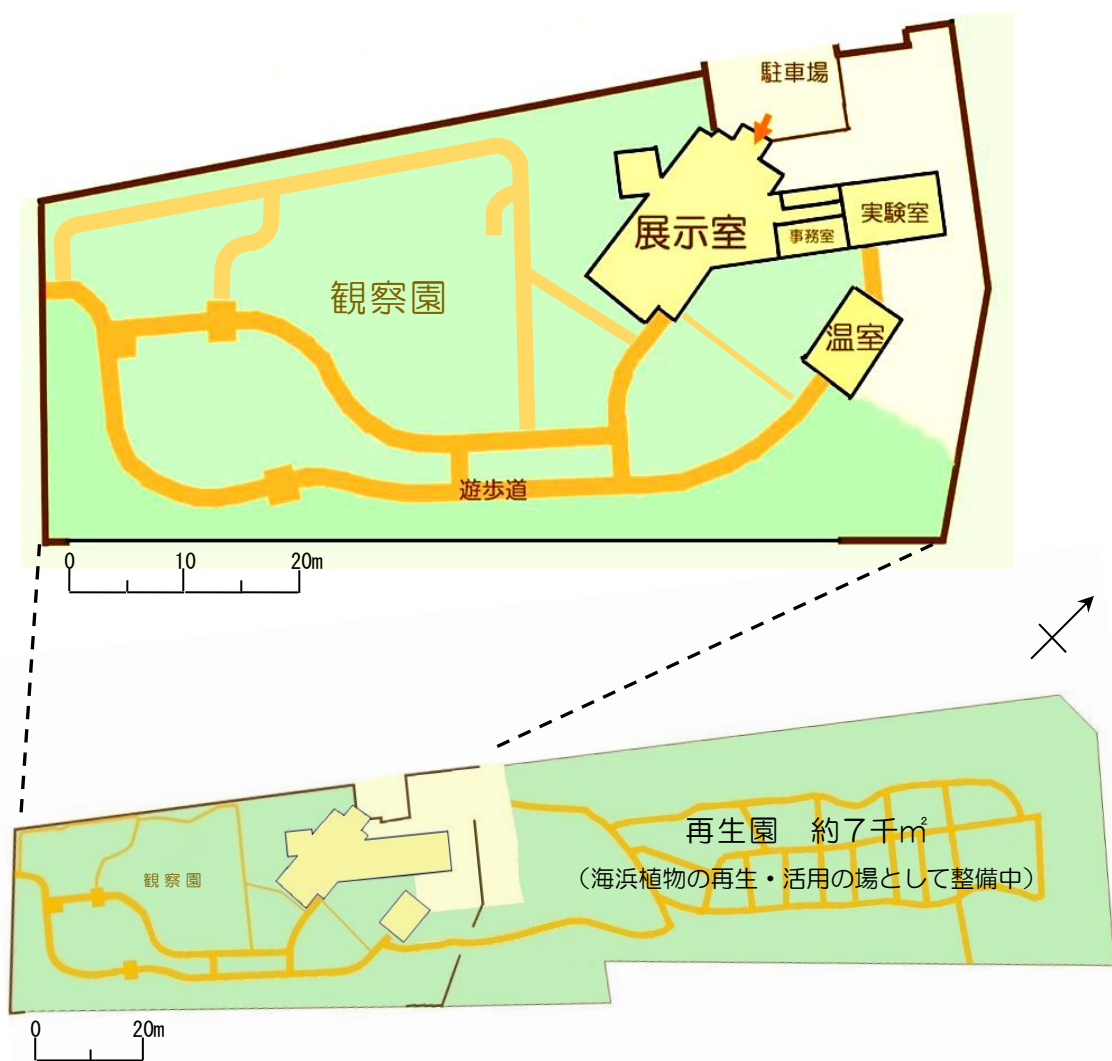
○ 調査・研究業務

石狩の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施

ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

施設の改修等

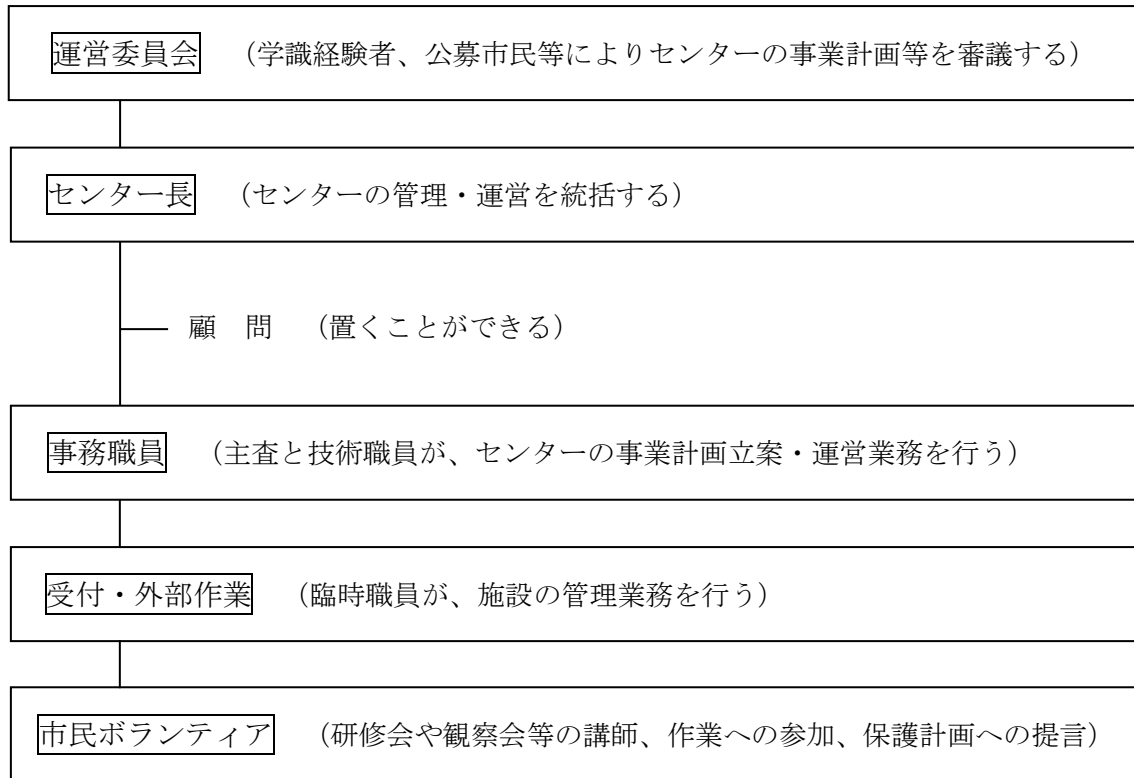
平成29年度は、観察園の木道（枕木）が老朽化してきているため、一部を改修し、利用者の安全性向上を図りました。

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日
 開館時間 9時～17時
 休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
 入館料 無料
 駐車場 あり
 交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
 「石狩」行き約60分 「石狩温泉前」下車
 徒歩5分



管理運営と組織図



◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿 （第9期：H28.4.1～H30.3.31）

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	伊井 義人
委 員	荒井 一洋
委 員	内藤 華子
委 員	石山 優子
委 員	北條 静香
委 員	高瀬 たみ
委 員	後藤 芳子

平成29年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書
平成30年 月発行

発 行 石狩市
編 集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター
開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1
tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2
tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>